

## ☆【Topics】

○「地域ケア会議」：介護保険法改正により、平成 27 年度から市町村に、設置、運営が義務付けられ、多職種協働による「地域包括ケアシステム」実現を目指す法定会議。河内長野市では、行政はじめ三師会、地域包括支援センター、社会福祉協議会等で構成し、神戸理事が議長。次頁参照。

◎在宅サロン：9月5日(土)第38回開催(於・河内長野市医師会館)。参加89名

特別講演「みんなで学ぼう！脳卒中：講師：尾原信行先生」(大阪南医療センター脳血管内科脳卒中センター)の他、大阪南医療センター地域医療連携室から報告、案内などがあつた。

◇いきいき介護フェスタ：9月13日(日)第5回開催(於・河内長野市立市民交流センター)

来場者約450名。4階医師会ブースにて、チラシ(2種類)を配布しながら、市民への医療相談と「かかりつけ医を持ちましょう」啓発を行った。

◎医療・介護連携勉強会：11月12日(木)第8回開催(於・大阪南医療センター)。参加88名

特別講演「地域で育むこころのスピリチュアルケア：講師：大下大圓 猯下」(真言宗飛騨千光寺住職・京都大学大学院医学研究科非常勤講師)があり、「心身一如のケア」が提唱された。

□大阪府「在宅医療・介護連携推進事業」研修会：10月5日(月)開催(於・大阪赤十字会館)

厚生労働省・大阪府から同事業の概要説明があり、先進事例として、千葉県柏市の実践報告があつた。柏市では、在宅医療・介護多職種連携協議会の設置やガイドブックの作成等を実施。

□郡市区等医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会：11月2日(月)開催(於・大阪府医師会館)

次期医療計画策定にあたり、必要病床数の推計等を織り込んだ一部骨子案を提示。次頁参照。

□大阪府医師会「在宅医療連携拠点支援事業」講演会：11月4日(水)開催(於・大阪府医師会館)

大阪府医師会から同事業の概要説明があり、先進事例として、神奈川県横須賀市の実践報告があつた。横須賀市では、在宅療養センター「かもめ広場」の設置やガイドブックの作成等を実施。

□第39回大阪府医師会医学会総会(パネル展示)：11月8日(日)開催(於・大阪府医師会館)

神戸理事、一般演題として「アンケート調査から見た河内長野市在宅医療推進への課題」を発表。

□大阪府医師会「在宅医療コーディネータ交流研修会」(2回)・「在宅医療コーディネータ研修」(3回)が、いずれも大阪府医師会館で開催され、先進事例の実践報告とグループワーク等が行われた。

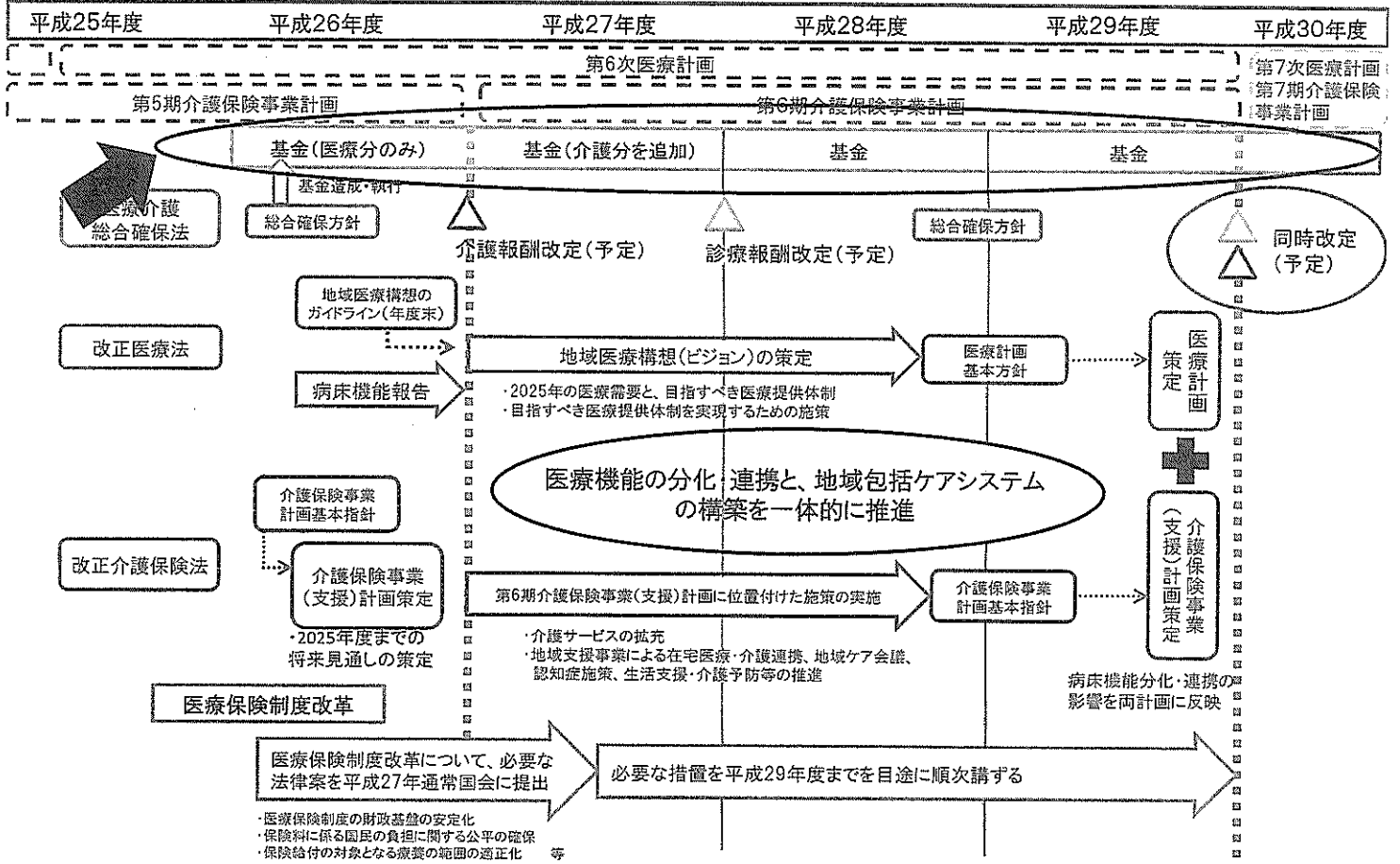
◇河内長野市との懇談等：11月5日(木)、11月9日(月)、11月11日(水)、11月18日(水)、11月20日(金)と健康長寿部の担当者と喫緊課題等について話し合い等を行った。

☆【Pick Up】：目下喫緊の取組み課題は、次の通り。

①「かわちながの連携シート」：医師と訪問看護師、ケアマネジャーはじめ他職種とが顔なじみになるためのきっかけツール(FAX連絡票)として、河内長野市と共同で独自版発行に向けて協議中。

②「ブルーカードシステム」・「認知症初期集中支援チーム」：前者は、休日夜間病状急変時対応と回復時退院調整の2つの機能を持つ。有機的かつ広域的なシステム運用を目指すべく、目下先進地区の実情を調査中。後者は、「新オレンジプラン」に基づいた円滑なチーム運営を目指す。両者については、今後「地域ケア会議」の下で、具体的な制度設計や運用方法等を検討する。

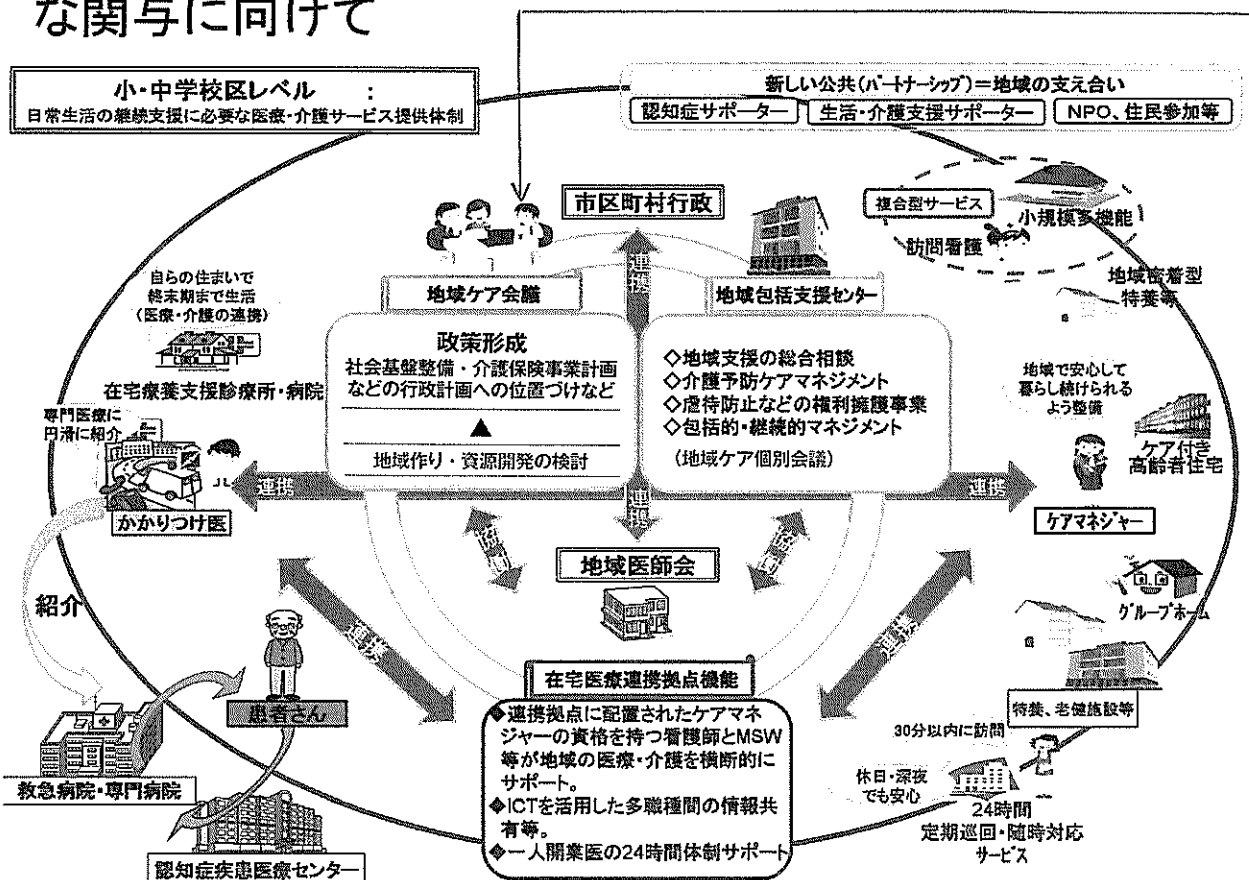
# 医療と介護の一体改革に係る今後のスケジュール



厚生労働省保険局「医療・介護の総合的な確保に向けた取組について」

## 地域包括ケアシステムにおける地域医師会の積極的な関与に向けて

### 地域ケア会議



(一部改変)

日本医師会「地域包括ケアシステムにおける地域医師会の積極的な関与に向けて」